

〔別 紙〕

様式 1

事 業 報 告 書

(自 令和3年7月1日 至 令和4年6月30日)

1 医療法人の概要

- (1) 名 称 医療法人 葵鐘会
- ① ☐ 財団 ☒ 社団 (☒ 出資持分なし ☐ 出資持分あり)
- ② ☐ 社会医療法人 ☐ 特定医療法人 ☐ 出資額限度法人
- ☒ その他
- ③ ☒ 基金制度採用 ☐ 基金制度不採用

注) ①から③のそれぞれの項目 (③は社団のみ。) について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。(会計年度内に変更があった場合は変更後。)

- (2) 事務所の所在地 愛知県稲沢市小池四丁目 122 番地
- (3) 設立認可年月日 昭和 平成 令和 19 年 12 月 6 日 ✓
- (4) 設立登記年月日 昭和 平成 令和 19 年 12 月 10 日 ✓
- (5) 役員及び評議員

	氏 名	備 考
理 事 長	山 下 守	
理 事	野 村 誠 二	セブンベルクリニック管理者
同	三 井 崇	ローズベルクリニック管理者
同	石 松 志 乃	グリーンベルクリニック管理者
同	吉 田 憲 生	エンジェルベルホスピタル管理者
同	山 口 昌 章	アルプスベルクリニック管理者
同	柿 坂 宜 孝	ロイヤルベルクリニック管理者
同	村 上 聡	フォレストベルクリニック管理者
同	刈 谷 方 俊	パークベルクリニック管理者
同	上 野 有 生	キャッスルベルクリニック管理者
同	前 田 洋 一	フェアリーベルクリニック管理者
同	杉 浦 正 彦	オレンジベルクリニック管理者
同	堀 尾 潤	ピーチベルクリニック管理者
同	加 藤 三 紀 彦	アイリスベルクリニック管理者
同	柳 瀬 陽 一 郎	
同	吉 田 茂	
同	早 川 星 朗	プリズムベルクリニック管理者
同	河 井 通 泰	
同	永 友 一 成	
監 事	竜 嶽 一 己	

注) 1. 「社会医療法人、特定医療法人及び医療法第42条の3第1項の認定を受けた医療法人」以外の医療法人は、記載しなくても差し支えないこと。

2. 理事の備考欄に、当該医療法人の開設する病院、診療所又は介護老人保健施設（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の管理者であることを記載すること。（医療法第47条第1項参照）

3. 評議員の備考欄に、評議員の選任理由を記載すること。（医療法第49条の4参照）

2 事業の概要

(1) 本来業務（開設する病院、診療所又は介護老人保健施設（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務）

種 類	施設の名称	開 設 場 所	許可病床数
病 院	エンジェルベルホスピタル	愛知県岡崎市錦町5番地1	一般病床 33床
診療所	セブンベルクリニック	愛知県稲沢市小池四丁目122番地	一般病床 19床
	ローズベルクリニック	岐阜県可児市下恵土2975番地1	一般病床 19床
	グリーンベルクリニック	愛知県豊田市若林東町棚田160番地1	一般病床 19床
	アルプスベルクリニック	岐阜県高山市山田町310番地	一般病床 19床
	ロイヤルベルクリニック	愛知県名古屋市長区水広一丁目1715番地	一般病床 19床
	フォレストベルクリニック	愛知県名古屋市中区上志段味字羽根前600番2	一般病床 19床
	パークベルクリニック	愛知県豊橋市南松山町153	一般病床 19床
	キャッスルベルクリニック	愛知県名古屋市中区天塚町二丁目7番地	一般病床 19床
	フェアリーベルクリニック	愛知県岡崎市中島町字鮫田12番地	一般病床 19床
	オレンジベルクリニック	愛知県蒲郡市新明町23番21号	一般病床 13床
	ピーチベルクリニック	愛知県安城市新田町小山117番地	一般病床 19床
	アイリスベルクリニック	岐阜県羽島市竹鼻町丸の内四丁目6番	一般病床 19床
	プリズムベルクリニック	愛知県名古屋市長区水広二丁目118番地	0床

注) 1. 地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者として管理する施設については、その旨を施設の名称の下に【 】書で記載すること。

2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を[]書で記載すること。

3. 介護老人保健施設の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

(2) 附帯業務（医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務）

種類又は事業名	実 施 場 所	備 考
ベトナムにおける国際展開に関する業務	ベトナム	

注) 地方公共団体から委託を受けて管理する施設については、その旨を施設の名称の下に

【 】書で記載すること。

- (3) 収益業務（社会医療法人又は医療法第42条の3第1項の認定を受けた医療法人が行うことができる業務）

種 類	実 施 場 所	備 考

- (4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項

令和3年9月27日	第14期決算承認
令和3年10月18日	三井住友銀行からの特殊当座借越契約締結
令和4年1月31日	衛生検査所設立における定款変更
令和4年4月28日	理事選任
令和4年5月30日	事業譲渡、診療所廃止、定款変更、理事辞任
令和4年6月10日	診療所開設、定款変更、理事選任、管理者選任

注) (5)、(6)については、医療機関債を発行又は購入する医療法人が記載し、(7)以下については、病院又は介護老人保健施設を開設する医療法人が記載し、診療所のみを開設する医療法人は記載しなくても差し支えないこと。

- (5) 当該会計年度内に発行した医療機関債

注) 医療機関債の発行総額、申込単位、申込期間、利率、払込期日、資金使途、償還の方法及び期限を記載すること。なお、発行要項の写しの添付に代えても差し支えない。

医療機関債を医療法人が引き受けた場合には、当該医療法人名を全て明記すること。

- (6) 当該会計年度内に購入した医療機関債

注) 1. 医療機関債を購入する医療法人は、医療機関債の発行により資産の取得が行われる医療機関と同一の二次医療圏内に自らの医療機関を有しており、これらの医療機関が地域における医療機能の分化・連携に資する医療連携を行っており、かつ、当該医療連携を継続することが自らの医療機関の機能を維持・向上するために必要である理由を記載すること。

2. 購入した医療機関債名、発行元医療法人名、購入総額及び償還期間を記載すること。
なお、契約書又は債権証書の写しの添付に代えても差し支えない。

- (7) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設

BN ラボ

登録年月日：2022年6月23日

愛知県岡崎市錦町5番地1

(8) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容

(9) その他

様式第一号

法人名 医療法人 葵鐘会

※医療法人整理番号 01800

所在地 愛知県稲沢市小池四丁目122番地

貸 借 対 照 表

(令和 4年 6月 30日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
I 流 動 資 産	2,278,292	I 流 動 負 債	2,280,440
現金及び預金	718,688	買 掛 金	364,238
事業未収金	1,278,549	短 期 借 入 金	1,200,000
たな卸資産	136,840	未 払 金	83,087
前 渡 金	6,000	未 払 費 用	405,146
前 払 費 用	118,886	未 払 法 人 税 等	9,987
その他の流動資産	20,549	未 払 消 費 税 等	38,714
貸倒引当金	△ 1,221	預 り 金	91,701
II 固 定 資 産	4,352,227	リ ー ス 債 務	85,581
1 有 形 固 定 資 産	3,742,458	その他の流動負債	1,982
建 物	3,020,250		
構 築 物	69,047		
医療用器械備品	66,492		
その他の器械備品	102,551	II 固 定 負 債	3,937,218
車両及び船舶	470	長 期 借 入 金	3,599,880
土 地	483,646	退 職 給 付 引 当 金	97,677
2 無 形 固 定 資 産	27,335	リ ー ス 債 務	239,661
ソフトウェア	3,848		
その他の無形固定資産	23,487		
3 その他の資産	582,433	負 債 合 計	6,217,658
長期貸付金	183,205	純 資 産 の 部	
その他長期貸付金	183,205	科 目	金 額
差入保証金	162,663	I 基 金	71,900
長期前払費用	8,924	II 積 立 金	340,960
繰延税金資産	229,731	繰越利益積立金	340,960
その他の固定資産	2,908		
返還免除引当金	△ 5,000		
		純 資 産 合 計	412,861
資 産 合 計	6,630,520	負債・純資産合計	6,630,520

(注) 1. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適當であると認められるものについては、当該資産、負債及び純資産を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。

2. 社会医療法人及び特定医療法人については、純資産の部の基金の科目を削除すること。

3. 経過措置医療法人は、純資産の部の基金の科目の代わりに出資金とするとともに、代替基金の科目を削除すること。

様式第二号

法人名 医療法人 葵鐘会
所在地 愛知県稲沢市小池四丁目122番地

※医療法人整理番号 01800

損 益 計 算 書
(自 令和 3年 7月 1日 至 令和 4年 6月 30日)

(単位：千円)

科 目	金 額	
I 事業損益		
A 本来業務事業損益		
1 事業収益		10,431,710
2 事業費用		
(1)事業費	8,808,076	
(2)本部費	1,819,015	10,627,092
本来業務事業損失		△ 195,382
B 附帯業務事業損益		
1 事業収益		
2 事業費用		
附帯業務事業利益		
事業損失		△ 195,382
II 事業外収益		
受取利息	4,971	
その他の事業外収益	399,795	404,767
III 事業外費用		
支払利息	88,525	
その他の事業外費用	111	88,637
経常利益		120,748
IV 特別利益		
固定資産売却益		
その他の特別利益		
V 特別損失		
固定資産売却損	1,009	
その他の特別損失	827	1,837
税引前当期純利益		118,909
法人税・住民税及び事業税		78,983
法人税等調整額		2,470
当期純利益		37,455

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること。
2. 表中の科目について、不要な科目は削除しても差し支えないこと。また、別に表示することが適当であると認められるものについては、当該事業損益、事業外収益、事業外費用、特別利益及び特別損失を示す名称を付した科目をもって、別に掲記することを妨げないこと。

様式第三号

法人名 医療法人 葵鐘会
所在地 愛知県稲沢市小池四丁目122番地

※医療法人整理番号 01800

財 産 目 録
(令和 4年 6月 30日現在)

1. 資 産 額 6,630,520,418円
2. 負 債 額 6,217,658,977円
3. 純 資 産 額 412,861,441円

(内 訳) (単位：円)

区 分	金 額
A 流 動 資 産	2,278,292,491
B 固 定 資 産	4,352,227,927
C 資 産 合 計 (A + B)	6,630,520,418
D 負 債 合 計	6,217,658,977
E 純 資 産 (C - D)	412,861,441

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 (□ 法人所有 □ 賃借 ■ 部分的に法人所有(部分的に賃借))
建 物 (□ 法人所有 □ 賃借 ■ 部分的に法人所有(部分的に賃借))

様式 6

監 事 監 査 報 告 書

医療法人葵鐘会

理事長 山下 守 殿

私は、医療法人葵鐘会の令和3会計年度（令和3年7月1日から令和4年6月30日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

令和4年9月20日

医療法人葵鐘会

監事 竜嶽 一己

※医療法人整理番号 01800

法人名 医療法人 葵鐘会
所在地 愛知県稲沢市小池4丁目122番地

純 資 産 変 動 計 算 書
(自 令和 3年 7月 1日 至 令和 4年 6月 30日)

(単位:千円)

	基金 (又は出資金)	積立金		・ 評 価 ・ 換 算 差 額 等			純資産合計
		代替基金	繰越利益積立金	積立金合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損 益	評価・換算 差額等合計
令和 3年 7月 1日 残高	71,900		303,505	303,505			375,405
会計年度中の変動額							
当期純利益			37,455	37,455			37,455
会計年度中の変動額合計			37,455	37,455			37,455
令和 4年 6月 30日 残高	71,900		340,960	340,960			412,861

1. 純資産の変動事由及び金額の掲載は、概ね貸借対照表における記載の順序によること。
2. 評価・換算差額等は、科目ごとの記載に代えて評価・換算差額等の合計額を、前会計年度末残高、会計年度中の変動額及び会計年度末残高に区分して記載すること。
3. 積立金及び純資産の各合計欄の記載は省略することができる。

重要な会計方針等の記載及び貸借対照表等に関する注記

1 資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産

最終仕入原価法

2 固定資産の減価償却方法

① 有形固定資産

建物（建物附属設備を除く）は定額法、建物以外については定率法によっております。但し、平成 28 年 4 月以降に取得した建物附属設備及び構築物は定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は次の通りであります。

建物 8 年~29 年

構築物 2 年~55 年

医療用器械備品 3 年~8 年

その他の器械備品 4 年~15 年

車両及び船舶 4 年~6 年

② 無形固定資産（リース資産を除く）

定額法によっております。

なお、耐用年数については、法人税法に規定する方法と同一の基準によっております。ただし、ソフトウェア（法人内使用分）については、法人内における利用可能期間（5 年）に基づく定額法によっております。

③ 長期前払費用

定額法によっております。

3 引当金の計上基準

① 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については法人税法における貸倒引当金の繰入限度額を、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

② 退職給付引当金

役職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上しております。なお、当医療法人は、前々会計年度末日の負債総額が 200 億円未満であることから、簡便法による期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を採用しております。

③ 返還免除引当金

奨学金及び助産師貸付金の返還免除による損失に備えるため、返還免除の実績率により返還免除見込額を計上しております。

4 消費税及び地方消費税の会計処理の方法

消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式によっております。

5 その他貸借対照表等作成のための基本となる重要な事項

① 補助金等の会計処理方法

運営補助金は当該補助対象の費用と対応させるため、事業収益に計上しております。

② ファイナンス・リース取引の会計処理方法

リース取引開始日が、前々会計年度末日の負債総額が 200 億円未満である会計年度の所有権移転外ファイナンス・リース取引については賃貸借処理によっております。

・ 6 担保に供される資産に関する事項

【担保に供している資産】

科 目	金額（千円）
土地	389,837
建物	371,016
診療報酬債権	547,422
合 計	1,308,275

【担保に係る債務】

科 目	金額（千円）
短期借入金	900,000
長期借入金（1 年以内返済予定を含む）	3,899,880
合 計	4,799,880

7 その他医療法人の財産状態又は損益の状況を明らかにするために必要な事項

① 賃貸借処理をしたファイナンス・リース取引に係るリース料総額及び未経過リース料の当期末残高

科 目	リース料総額（千円）	未経過リース料（千円）
医療用・その他の器械備品	577,120	342,392
車両及び船舶	318,853	229,725
ソフトウェア	396,708	249,290

② 繰延税金資産及び繰延税金負債の主な発生原因別内訳

繰延税金資産

未払事業税及び地方法人特別税	3,623 千円
繰延資産償却超過額	19,185 千円
退職給付引当金	30,201 千円
返還免除引当金	1,546 千円
一括償却資産償却超過額	4,259 千円
減価償却費超過額	214,497 千円
合 計	273,313 千円

繰延税金負債

建物	43,582 千円
合 計	43,582 千円

繰延税金資産の純額	229,731 千円
-----------	------------

③ 有形固定資産の減価償却累計額の総額

有形固定資産の減価償却累計額の総額は 4,805,181 千円であります。

様式第五号

法人名 医療法人 葵鐘会

※医療法人整理番号 07800

所在地 愛知県稲沢市小池4丁目122番地

有形固定資産等明細表

資産の種類		前期末残高 (千円)	当期増加額 (千円)	当期減少額 (千円)	当期末残高 (千円)	当期末減価償却累計額又は 償却累計額 (千円)	当期償却額 (千円)	差引 当期末残高 (千円)
有形 固定 資産	建物	7,031,533	21,877	157,416	6,895,994	3,875,744	228,792	3,020,250
	構築物	342,644	701	697	342,648	273,601	13,230	69,047
	医療用器械 備品	177,138	64,408	7,601	233,946	167,453	27,617	66,492
	その他器械 備品	555,950	41,484	19,931	577,503	474,951	55,061	102,551
	車両及び船 舶	15,583	68,697	70,380	13,901	13,430	1,581	470
	土地	483,646	—	—	483,646	—	—	483,646
	計	8,606,496	197,170	256,027	8,547,640	4,805,181	326,284	3,742,458
無形 固定 資産	ソフトウェ ア	60,756	987	441	61,302	57,454	2,072	3,848
	その他の無 形固定資産	28,830	19,020	22,819	25,030	1,543	118	23,487
	計	89,586	20,007	23,260	86,333	58,997	2,191	27,335
そ の 他 の 資 産	長期貸付金	219,490	214,650	250,935	183,205	—	—	183,205
	役職員等長 期貸付金	40,000	—	40,000	—	—	—	—
	差入保証金	169,398	1,965	8,700	162,663	—	—	162,663
	長期前払費 用	104,919	—	—	104,919	95,994	4,428	8,924
	繰延税金資 産	232,201	—	2,470	229,731	—	—	229,731
	その他の固 定資産	2,928	22	42	2,908	—	—	2,908
	返還免除引 当金	△ 9,000	—	△ 4,000	△ 5,000	—	—	△ 5,000
	計	759,937	216,637	298,147	678,426	95,994	4,428	582,433

様式第六号

法人名 医療法人 葵鐘会
所在地 愛知県稲沢市小池4丁目122番地

※医療法人整理番号 01800

引 当 金 明 細 表

区 分	前期末残高 (千円)	当期増加額 (千円)	当期減少額 (目的使用) (千円)	当期減少額 (そ の 他) (千円)	当期末残高 (千円)
貸倒引当金	1,527	120	—	426	1,221
返還免除引当金	9,000	—	4,000	—	5,000
退職給付引当金	81,382	17,138		843	97,677

(注) 当期減少額(その他)欄に記載の減少額はそれぞれ次の理由によるものです。
貸倒引当金・・・未収金の回収による取崩額
退職給付引当金・・・退職金規定による取崩額

様式第七号

法人名 医療法人 葵鐘会
所在地 愛知県稲沢市小池4丁目122番地

※医療法人整理番号 01800

借入金等明細表

区 分	前 期 末 残 高 (千円)	当 期 末 残 高 (千円)	平均利率 (%)	返済期限
短期借入金	900,000	900,000	0.98	—
1年以内に返済予定の 長期借入金	300,000	300,000	1.1	—
長期借入金（1年以内に 返済予定のものを除く。）	3,899,880	3,599,880	1.1	令和7年6月
その他の有利子負債	435,473	334,825	—	—
合 計	5,535,353	5,134,705	—	—

（注） その他の有利子負債の内訳は下記のとおりであります。
リース債務・・・前期末残高403,173千円 当期末残高325,243千円
支払委託債務・・・前期末残高32,299千円 当期末残高9,582千円

	1年以内	1年超2年以内	2年超3年以内	3年超4年以内	4年超5年以内
長期借入金（1年以内に 返済予定のものを除く。）		300,000	300,000	300,000	300,000
その他の有利子負債	95,164	93,932	103,206	42,522	—

様式第九の一号

法人名 医療法人 葵鐘会
所在地 愛知県稲沢市小池4丁目122番地

※医療法人整理番号 01800

事業費用明細表

(単位：千円)

区 分	本 来 業 務 事 業 費 用			附 帯 業 務 事業費用	収 益 業 務 事業費用	合 計
	事 業 費	本 部 費	計			
材料費	965,788	—	965,788	—	—	965,788
給与費	5,420,050	960,718	6,380,769	—	—	6,380,769
委託費	693,646	380	694,026	—	—	694,026
経費	977,073	199,248	1,176,322	—	—	1,176,322
売上原価	—	—	—	—	—	—
その他の事業費用	751,517	658,668	1,410,185	—	—	1,410,185
計	8,808,076	1,819,015	10,627,092	—	—	10,627,092

独立監査人の監査報告書

2022年9月16日

医療法人 葵鐘会
理事会 御中

公認会計士小久保会計事務所
愛知県半田市

公認会計士 小久保 収 敬

公認会計士石川敬士事務所
三重県三重郡川越町

公認会計士 石川 敬 士

監査意見

私たちは、医療法第51条第5項の規定に基づき、医療法人葵鐘会の2021年7月1日から2022年6月30日までの第15会計年度の貸借対照表、損益計算書、重要な会計方針及びその他の注記並びに財産目録（以下「計算書類」という。）について監査を行った。

私たちは、上記の計算書類が、全ての重要な点において厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠して作成されているものと認める。

監査意見の根拠

私たちは、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における私たちの責任は、「計算書類の監査における監査人の責任」に記載されている。私たちは、我が国における職業倫理に関する規定に従って、法人から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。私たちは、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

その他の記載内容

その他の記載内容は、事業報告書、関係事業者との取引の状況に関する報告書、純資産変動計算書及び附属明細表である。理事者の責任は、その他の記載内容を作成し開示することにある。また、監事の責任は、その他の記載内容の報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

私たちの計算書類に対する監査意見の対象にはその他の記載内容は含まれておらず、私たちはその他の記載内容に対して意見を表明するものではない。

計算書類の監査における私たちの責任は、その他の記載内容を通読し、通読の過程において、その他の記載内容と計算書類又は私たちが監査の過程で得た知識との間に重要な相違があるかどうか検討すること、また、そのような重要な相違以外にその他の記載

内容に重要な誤りの兆候があるかどうか注意を払うことにある。

私たちは、実施した作業に基づき、その他の記載内容に重要な誤りがあると判断した場合には、その事実を報告することが求められている。

その他の記載内容に関して、私たちが報告すべき事項はない。

計算書類に対する理事者及び監事の責任

理事者の責任は、厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠して計算書類を作成することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類を作成するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算書類を作成するに当たり、理事者は、継続事業の前提に基づき計算書類を作成することが適切であるかどうかを評価し、厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に基づいて継続事業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監事の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における理事の職務の執行を監視することにある。

計算書類の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算書類に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算書類の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- ・ 計算書類の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- ・ 理事者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに理事者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 理事者が継続事業を前提として計算書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続事業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算書類の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算書類の注記事項が適切でない場合は、計算書類に対して除外事項付意見を表明することが求められ

ている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、法人は継続事業として存続できなくなる可能性がある。

- ・ 計算書類の表示及び注記事項が厚生労働省令第95号（平成28年4月20日）において定められた医療法人会計基準及びこれに関連する医政局通知等に準拠しているかどうかを評価する。

監査人は、監事に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。

利害関係

法人と私たちとの間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上